



赤麻小だより

第34号

平成24年10月17日

発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

学習の充実で“かしこい赤麻っ子に”

運動会も無事終わり、子どもたちは今、学習に落ち着いて取り組んでいます。

本校では、今年度も学校教育目標達成のための、学校課題の研究主題を

「自分の思いや考えを、自分の言葉で表現する児童の育成」～言語活動の充実を通して～（2年目）として研修しています。10日（水）には、3年生が研究授業を行いました。

3年生は「話し合って決めよう」という単元で赤麻小の先生方の紹介したい内容をグループ毎に話し合って決める学習を行いました。

- ①司会や提案の役割を果たしながら進行に沿って話し合う。
- ②共通点や相違点を意識し、紹介する内容を考える。
- ③意見や理由を述べる際に用いる言葉を使う。



という3つの目標で学習活動を行いました。どのグループも司会者用、提案者用のアドバイスカードを基に一生懸命話し合いを行っている様子が見られました。

この研究授業は、6月に行われた2年生の授業 大事なことをおとさずに、話したり聞いたりしよう 「ともこさんはどこかな」と5年生授業「敬語」の研究協議会の研究協議をふまえて行われています。また、今回の授業の研究協議をふまえて、11月には、1年生と6年生が授業研究を行います。

授業研究では、事前にそれぞれの学年の発達段階を踏まえて、本校における「話す・聞く・話し合う」めあての設定を受け、そのめあてを達成するためにはどんな学習展開にすればいいか話し合います。話し合いを基に授業を展開し、どの学習活動を中心に見取っていくかなど先生方で共通理解を図って研究を進めています。

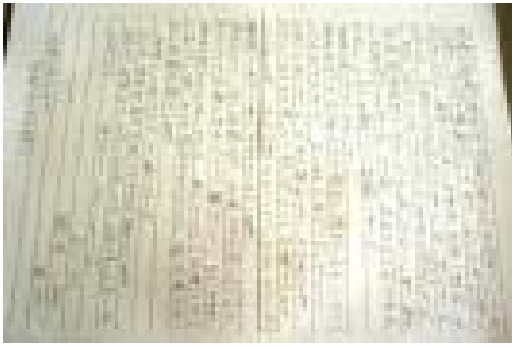
子どもたちは、グループの中で、進んで自分の意見を述べたり、お友達の意見について、自分の考えを話したりしながら、学習課題について解決していきます。今後も、子どもたちが、自分の考えの根拠をきちんと示しながら話したり、友達の考えをしっかりと聞いて話し合うことができるよう授業を展開していきたいと思っています。

また、10月3日には、4年生がアイマスク体験を基に、目の不自由な人にどんな手助けができるか、具体的な場面を想定して考えていきました。相手のことを考え相手に寄り添った手助けがたくさん発表され、優しい4年生の心に触れ、心が満たされた1時間でした。

本校における放射線量です・・・10月 4日（木） 0.080 μ Sv/h

10月11日（木） 0.079 μ Sv/h

地域の方からお手紙をいただきました



長寿祝いに御招待した地域の方から、お礼のお手紙をいただきました。残念ながら運動会の日には、いらっしゃれませんでした。お手紙には、子どもたちの手作りのプレゼントの手袋について、こんな記述がありました。

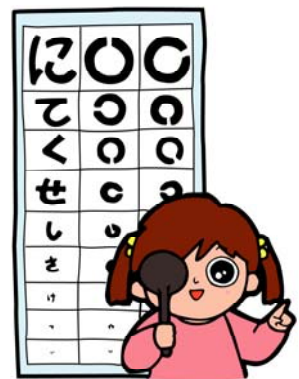
先生方はじめ、みなさん方の温かい心がじんじんとつたわってきました。心こまかくお心づかいくださってうれしく思います。さっそく使わせていただきます。みなさん方の心の温かさを思い浮かべつつ仕事をさせていただきます。いやな仕事もきつときつと心よくスムーズに能率をあげる事が出来ると思います。私共にとって一生の宝物です。赤麻小の子どもさんの心のやさしさを赤麻に住む人として誇りに思います。(抜粋)

恩田 勇 敏子

運動会における子どもたちの企画を、地域の方に喜んでいただいととてもうれしく思います。きっと、使っていただく度に、赤麻小の子どもたちの事を話題にしていだけるのではないのでしょうか。地域の方とまたひとつ絆が深まりました。そして、こんなふうに思ってください地域の方に支えていただいている本校の子どもたちや私たち職員は幸せだなと思います。

就学時の健康診断が行われました

12日(金)に来年本校に入学する子どもたちの、健康診断が行われました。来年度の1年生は、12日現在男子15名女子12名の27名です。みんな、元気に来校しました。子どもたちは6年生のお兄さん、お姉さんに手を引かれ、内科検診や歯科検診などが行われ入学の準備をしました。保護者の皆様には、この時間を利用して“どーなっクラブ”さんによる家庭教育講座が実施されました。「進んであいさつをしていますか? あいさつはコミュニケーションの第一歩」というテーマで事例を基にワークショップを行いました。ワークショップのまとめにこんなことばがありましたので紹介します。



大好きな人たちから沢山声かけを受けて育った子は、自分は受け入れられているんだと安心し、自分にも人にも肯定的な気持ちが育っていきます。

この肯定感が、自ら進んで「あいさつ」できる力の元になるのです。

子どもたちが自然に「あいさつ」出来るように、大人の「あいさつ」の声で取り囲みましょう。

赤麻地区では、地域でも、家庭でも、学校でも大きなあいさつの声が聞こえるといいなと思います。